

競技上の注意事項とお願い

1. 本大会は、2022年度（財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会の開催要項によって運営する。
2. 本大会は、（財）日本陸上競技連盟広告規定を適用する。
3. ウレタン舗装以外の部分を通るときは、スパイクシューズは脱ぐこと。
4. 貴重品は自分の責任において保管すること。更衣室のロッカーを使っても良い。
5. 招集所（競技者係）は第2ゲート外側付近に設ける。招集時刻に遅れた場合は競技に出場できないことがあるので時間を厳守すること。**欠場する場合は、欠場届を必ず事前に提出すること。**

招集の時刻は トラック競技 競技開始の30分前に開始し20分前に完了する。

組ごとに招集時刻が異なる場合もあるので、日程表に記載の時刻を厳守のこと。

フィールド競技 競技開始の50分前に開始し40分前に完了する。

尚、棒高跳については、競技開始の70分前に開始し、60分前に完了とする。

6. トラック競技での、800m以上のレースと4×400mリレーのアンカーは、右腰に腰ビブス（主催者準備）を着けること。3,000m以上のレースは、左・右両腰に着ける。また、男・女5,000mWは胸も別ビブスを着ける。いずれも、招集時に競技者係より受取り、5,000mWは胸別ビブスはフィニッシュ地点で返却すること。
7. トラック競技は、荷物運搬を行う。①各自で透明のビニール袋(70L程度：「競技者係」でも販売します)を準備すること。②ナンバーと氏名を記入する。③スタート地点で衣類を入れ、所定の位置に置く。④競技役員が運搬する。⑤フィニッシュ地点で荷物を受け取り、退場する。
8. リレーオーダーは、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
9. スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。ただし、走高跳及びやり投は12mm以下とする。

シューズ底の厚さはWA改訂規則を適用する。トラック競技は競技者係で検査を受けること。

10. 男子・女子走幅跳は、3回目までの試技はA、Bピットで行う。トップ8決定後の4回目以降の試技も選手は3回目までと同じピットで行う。
11. 男子三段跳はA、Bピットで行い、踏切板の位置はAピットは13m、Bピットは11mとする。女子は9mとする。
12. 競技用具は主催者が用意したものを使用することとする。ただし、棒高跳のポール以外の個人所有の用器具の使用希望者は、競技開始1時間前までに検査申請書（検定場所に有る）に記入して、係員による検査を受けること。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。検査場所は用器具庫1（第4ゲート横）で行う。競技終了後、同場所で返却する。
13. 滑り止め（炭マグ）は各自用の小袋に入れたものを、各競技会場で役員から受取り使用すること。不足する場合は各自で準備すること。
14. バーの上げ方は次のとおりとする。

走高跳：男子 1m65 から 2m00 までは5cmきざみ。その後は3cmきざみ。

 女子 1m35 から 1m55 までは5cmきざみ。その後は3cmきざみ。

棒高跳：男子 2m00 から 3m60 までは20cmきざみ。その後は10cmきざみ。

 女子 1m80 から 10cmきざみ

15. 競技開始前の主競技場内練習は第1日、第2日共できない。
16. 補助陸上競技場での練習は7時45分から競技終了までとし、1・2レーンは、中・長距離練習、3～5レーンはスタート練習、6～8レーンはハードル練習とする。尚、ハードル設置は、スタートから3台目までとする。但し、第1日は400mHのみ、第2日は100mH・110mHのみとする。

17. 投てき練習は、下表のとおりとする。役員の指示に従い、安全には十分注意して行うこと。

	ちよるる広場(5/7)		補助競技場(5/8)
ハンマー投	8:30 ~ 9:10	—	—
円盤投(女子)	—	10:30 ~ 11:30	—
円盤投(男子)	—	13:00 ~ 14:00	—
やり投(女子)	—	—	8:30 ~ 9:10
やり投(男子)	—	—	12:30 ~ 13:20

18. 携帯電話・ラジオ・CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
19. 表彰について、3位までに入賞した者には賞状を授与するので成績発表（アナウンス）後、表彰係で受け取ること。
20. 競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人の責任において対応すること。
21. 芝生内で水分補給をする場合は、「水」のみとする。スポーツドリンク等は持ち込まないこと。
22. 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
23. メインスタンド1階への選手の入退場は第1・4ゲート部の出入口を利用すること。（エントランスホールは通行禁止）
24. 雨天走路の利用は一方通行（東から西）とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
25. 競技終了後は、ダッグアウトを通過して第1ゲート退場口へ行くこと。
26. 競技場外のジョギングコースは、スパイクの使用、ハードルの設置及び逆走を禁止する。
27. 勝手に壁、扉等にテープや押しピン等での張り紙は禁止する。
- 28. 対コロナ感染症対策のための規定を遵守すること。**
- ①関係者は「体調管理チェックシート」をT I Cに提出してリストバンドを受け取り、常時装着すること。
- ②競技終了後は直ちに、第1ゲート外の階段よりコンコースに上り、手洗い・うがいをする。
- ③各競技会場に置いてある、消毒液を適時使用してもよい。
- ④競技中（練習含む）以外は、競技場内においても必ずマスクを着用すること。
- ⑤待機場所は、2階コンコースとし、3密は避けること。また、ウォームアップ室は待機場所としては使用できない。更衣室の使用も短時間とすること。
- ⑥その他、別紙記載事項（別添1、2、3、4）を遵守すること。

※弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。

※競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

※競技場エリア内は全面禁煙です。（スタンド、コンコース、及び競技場周囲を含む）